

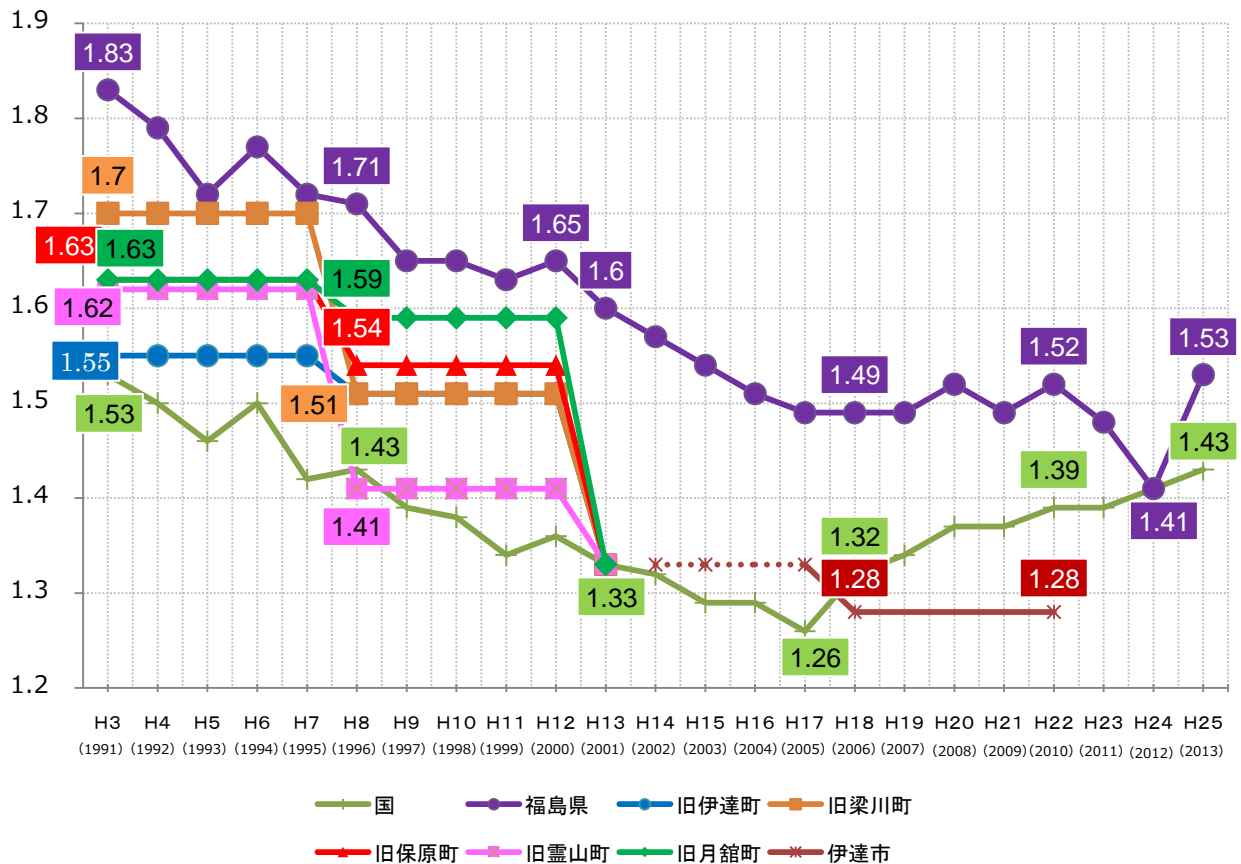
修正前（第3回本部会議資料）「伊達市人口動向分析・将来人口推計」P. 11

### 3-7. 合計特殊出生率<sup>1</sup>の推移

【分析及び結果の整理】

- 国においては、平成7（2005）年まで低下していたが団塊ジュニア世代の最後の駆け込み出産などの影響もあり上昇傾向である。
- 福島県においては、近年は震災翌年を除けば維持・微増の傾向にあり全体としては国の値を上回っている。
- 伊達市においては、低下傾向にあり平成12（2000）年までは国全体より高いが県全体より低い状況であった。
- 平成18（2006）以降は、国全体を下回り、平成22（2010）年の調査結果では県内において最低の値となっている。
- 15歳～49歳女性人口も減少一途であり、出生率の低下傾向を加味すると今後少子化が急激に進むことが推測される。

図表9 合計特殊出生率の推移と比較



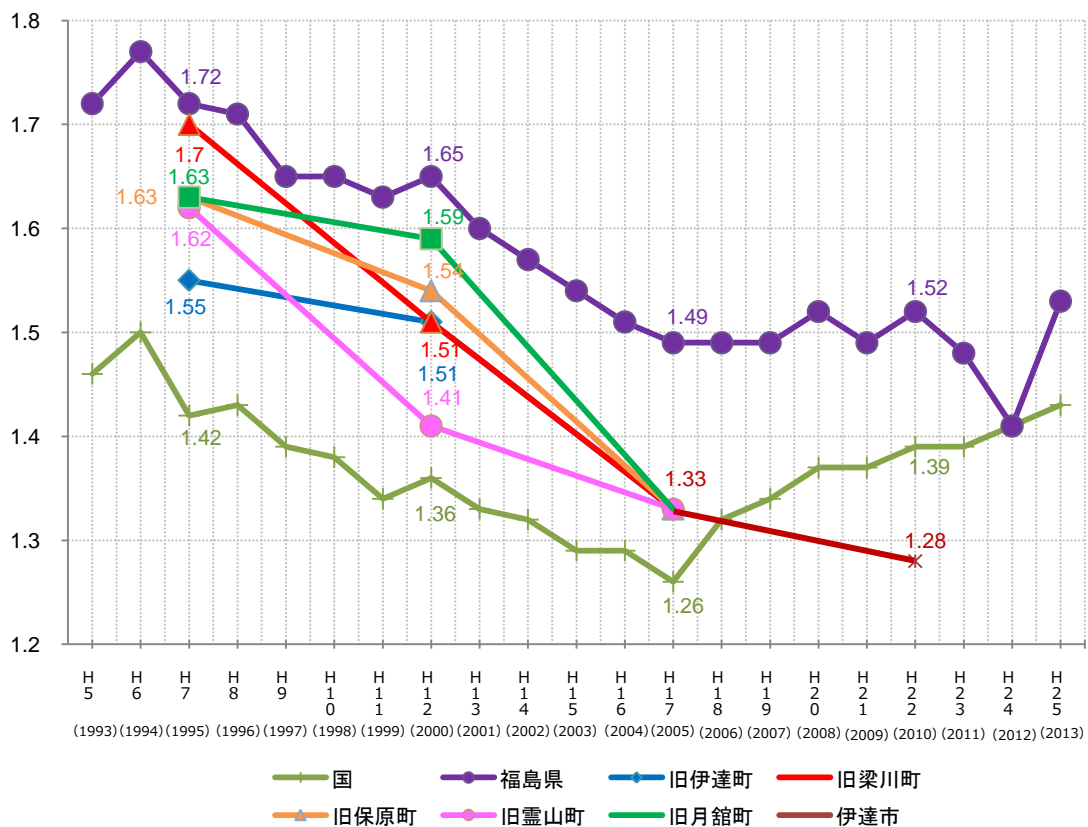
## 修正後（第4回本部会議資料）

3-7. 合計特殊出生率<sup>1</sup>の推移

## 【分析及び結果の整理】

- 国においては、平成7（2005）年まで低下していたが団塊ジュニア世代の最後の駆け込み出産などの影響もあり上昇傾向である。
- 福島県においては、近年は震災翌年を除けば維持・微増の傾向にあり全体としては国の値を上回っている。
- 伊達市においては、低下傾向にあり平成12（2000）年までは国全体より高いが県全体より低い状況であった。
- 平成18（2000）以降は、国全体を下回り、平成22（2010）年の調査結果では県内において最低の値となっている。
- 15歳～49歳女性人口も減少一途であり、出生率の低下傾向を加味すると今後少子化が急激に進むことが推測される。

図表9 合計特殊出生率の推移と比較



資料：厚生労働統計一覧 人口動態統計特殊報告

※市町村の数値は、5年間の平均値となる。

※平成7年の数値は「平成5年～平成9年」の平均値となる。以下同様